

吳文聰 くれ おやとし 統計學者。嘉永四年十一月二十七日江戸青山（隱田藩邸）生れ、大正七年九月十九日歿（八五—一九二八）。儒醫會吳黃石の次男。幼名頼士。少時渡邊會輔の漢籍を學び、箕作麟祥の就き共學を修む。のち慶應義塾に入り、藩の貢進生として大學南校に入學を中途退學。明治六年工部省入省後種々の官職、會社を経営し、二十一年農商務省統計課長となる。この間、十二年有志と謀り東京統計協會を興し、『統計集誌』を創刊、二十二年には『經濟及統計』創刊。またアメリカの國勢調査、イギリス、フランス、ドイツの統計狀況を視察。學督院を始め、東京專門學校、專修學校、慶應義塾、明治大學の教鞭を執つた。和歌を能くし俳句も作つた。

著譯書に、『統計學』（明治二十二年三月二十一日博文館）『政治學經濟學法律學講習全書』（、リチモンド・メヨール著 『經濟統計學』）（上巻・明治二十五年五月十七日東京專門學校出版部、下巻・十一月二十日早稻田大學出版部）『經濟學叢書』（、『吳文聰著作集』全三卷）（昭和四十八年刊）等の他、『吳文聰』（大正九年十月一日吳建編刊、増補版・昭和八年八月十日原田荷博編刊）がある。

